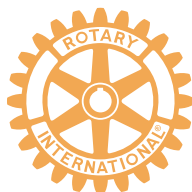


2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ ANAインターコンチネンタル別府リゾート&スパ
〒874-0000 別府市大字鉄輪499番地18
TEL (0977) 66-1000 FAX 66-1002
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル 3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事 西馬 良和 理事 森 宗明 役員 会長 梶原 和朗 会計 河村 貴雄
〃 木村きぬゑ 〃 平野 英壽 副会長 佐々木久宜 SAA 森園 伸也
幹事 平野 教康

VOL. 35 - 4
2022年10月4日

第1495回例会

会報担当 森 宗明

◆点 鐘 12:30

◆国 歌 君が代

◆R S 奉仕の理想

◆ゲスト ファン ユンソン さん (2022年度米山奨学生)

会長の時間

会長 梶原 和朗

皆さん、こんにちは。
本年度4回目の会長の時間です。

今月は、米山月間です。

それにちなんで、本日の卓話は2022年度米山奨学生でもある「ファン ユンソン」さんをお願いしています。

ファンさん卓話よろしくお祈りします。

先月の理事役員会で議題に上げた、エイトアップさんのお祭りに参加及び協賛の件を進めていきたいと思ひます。

そこで実行チームを作りたいと思ひます。

本日例会修了後の理事役員会にてメンバーを決めたいと思ひます。

本日はファンさんの卓話があるので会長の時間は以上といたします。

ありがとうございました。

◆出席報告

平野 教康

本日 の 出 席	会 員 総 数	19名
	出 席 者	12名
	事前メイクアップ	0名
	理 事 会 承 認	0名
	出 席 免 除	4名
欠 席 数	欠 席 数	3名
	出 席 率	80.00%
前々 回 の 訂 正	出 席 率	81.13%
	事後メイクアップ	0名
	理 事 会 承 認	0名
	出 席 免 除	3名
	修 正 出 席 率	81.13%

連 続 一 回
通 算 751回 100%

・メイクアップ

事前

事後

欠席 中尾、佐々木、梅津

理事会承認

出席免除 溝部、河村、木村、衛藤

◆幹事報告

佐々木久宜

一地域社会の経済発展月間／米山月間一

1. 本日の内容
「米山奨学生卓話」ファン ユンソン さん
2. 本日のゲスト
ファン ユンソン
黄 允宣さん (2022年度米山奨学生)



3. 「ロータリー適用相場変更」のお知らせ
10月1日より、全ての振込みに対する適用相場（ロータリーレート）が下記の通り変更となりますのでお知らせ致します。

1ドル 145円（9月：139円）

4. 「第51回ロータリー研究会」開催のご案内
【RI会長・TRF管理委員会ご夫妻歓迎晩餐会】

日時 令和4年11月20日（日）

登録料 会員／パートナー 20,000円

【ロータリー研究会】

日時 令和4年11月21日（月）・22日（火）

登録料 会員 32,000円 パートナー 16,000円

【インクルージョン・ビュッフェ】

日時 令和4年11月21日（月）

登録料 会員／パートナー 12,000円

場所 神戸ポートピアホテル

対象者 ガバナー補佐、クラブ会長、クラブ元会長、クラブ会長エレクト、ならびにパートナー

※参加希望の方は、幹事または事務局までお申し出ください。

5. 10月3日（月）18:30～両築別邸に於いて「大分第3グループIM資料作成委員会」が開催され、平野教康実行委員が出席致しました。

6. 本日、例会終了後～「第3回定例理事・役員会」を開催致します。

7. お祝い

会員誕生日 梅津 圭二会員（10月15日）

※記念品をお渡し致します。

皆 勤 亀井 孝会員（10月4日=17年）

8. 例会変更のお知らせ

別府北RC 10月5日（水）の例会は、例会場変更の為、同日別府市内RC合同事務局にてサイン受付

別府東RC 10月13日（木）の例会は、定款第7条第1節に基づき休会

別府RC 10月14日（金）の例会は、定款第7条第1節に基づき休会

湯布院RC 10月18日（火）の例会は、別府市近隣7RC親睦ソフトボール大会の為、10月15日（土）野口原グラウンドに日時・場所変更

大分中央RC 10月18日（火）の例会は、例会変更の為、同日12:00～12:40オアシスタワーホテルにてサインMU受付

大分南RC 10月21日（金）の例会は、例会変更の為、同日12:00～12:40トキ

ハ会館4FにてサインMU受付

9. 次回例会の予定（10月18日）

「通常例会」 12:30～

於：インターコンチネンタル

10. 本日の回覧

① 杵築RC 週報

② ガバナー月信

③ 「大分第3グループIM」出・欠席

11. 本日の配布

① 週報No.1494

② ロータリーの友10月号

③ 2022-2023年度ロータリー米山豆辞典



スマイルボックス

担当 佐藤 豊和

○衛藤会員

秋風に 誘われ我が家で 涙する

この度は、皆さん大変長い間ご心配・ご迷惑をおかけいたしました。大変ありがとうございました。

自宅で面会謝絶ではありますが、皆さんにお会いできる日を楽しみに養生しております。

次回の例会には出たいと思っております。

皆さんにくれぐれも宜しくお伝えください。

○平野(英)会員

みなさん、こんにちは。今月より米山月間に入ります。奨学のファンさん、当クラブは奨学生と募金に理解があります。今日はがんばって卓話よろしく。

又、当会員衛藤秀子さんがみなさんによろしくと。一応、退院したそうです。

○梶原会長

ファンさん卓話楽しみにしています。

3回連続、100切り中です。

○森会員

東京都美術館へボストン美術館展を見に行きました。目の保養になりました。因みに65才以上は500円引き!! 上野はすごい人出でした!!

○亀井会員

黄さん、今日は卓話ヨロシクお願いします。

後で韓国に行った時に覚えていると便利で役に立つ言葉を教えて下さい。



○竹下会員

本日のゲストのファンさん卓話楽しみにしております。

実は今日の例会、すっかり忘れてて、昨日の佐々木さんのラインで、今日ドタキャンせずにすみませんでした。佐々木さんに感謝です。

○中畑会員

本日の卓話、黄允宣さんよろしくお願ひします。

10月で自社も丸5年になりました。サラリーマンだった私も、少しずつ頭の中が経営者へと変わっていきました。先輩方みなさんの年数にはかないませんが、今後も色々勉強していきたいと思ひます。スマイル。

○山本会員

9月12日で50才を迎え、男50才からということで作業服を一新して、作業服でインターコンチに来ることができました。

気合い入れてがんばるぞ。

○森園会員

皆さん、元気ですかー!! 元気があれば何でもできる。

スマイル!!

○佐藤会員

ファンさん、今日ではよろしくお願ひします。来週のゴルフ、ソフトボール、楽しみです。

○平野(教)会員

9月に私にとって大事なところを手術してきました。手術は無事に終わり、まわりの毛がもとに戻るのを待つのみです。



たいへんありがたくも良い機会を得ることができたと思ひます。

今日、お話をしたいテーマは、私、ファン・ユンソンについての話です。

1. 子供のころ

私は、韓国のソウルで生まれました。両親は、私が小学校に入学して間もなく、離婚しました。母は、夕方に仕事をしていたので、私と弟は母方の祖母、祖父から育てられるしかありませんでした。

母が夕方に出勤すると、翌朝になって家に帰ってきたので、母に会える時間は、母が出勤準備をする時だけでした。でも、私と弟のために苦勞している母を今まで、恨んだことはありません。考えてみると、私の母は、本当にすごい存在だと思ひます。その時、母の年がわずか28歳でした。

私には、叔父が3人います。母は、結婚を早くした方なので、私と叔父との年が10歳、多くは16歳ぐらいしか差がありません。私にとって兄のようで、友達のようなおじです。私はおじにとって初めての姪ということで生まれた時から今まで、本当の妹のように格別の愛を受けています。

2. 叔父の話

おじは、幼い時から日本について関心がありました。当時、おじの夢が観光ガイドだったため、高校生の頃からずっと日本語を勉強していました。おじは大学を卒業して、いったん貿易会社に就職をしました。貿易会社に通いながらも日本語の勉強は続けました。ガイドという夢をキッカケに、日本語の勉強をしました。勉強をすればするほど、夢がふくらんだそうです。そして、叔父は、29歳になった時に通っていた韓国の貿易会社を辞めて、大分大学の大学院に入学しました。おじの専攻も会計です。おじは、大学院で一生懸命に勉強し、その結果、大学院を首席で卒業することができました。そして東京のみずほ銀行に就職がきまり、勤務をしました。現在は日本ではなく、シンガポールに住んでいます。おじは私にとってロールモデルあり、メンターでもあります。

3. 日本に興味を持つきっかけ

私の話に戻って、私が日本文化に接したきっかけは、この最愛のおじの影響が大きいです。中学

卓話

「米山奨学生卓話」

別府大学3年 ファン・ユンソン 黄允宣さん

こんにちは。別府中央クラブ、ロータリー奨学生、ファン・ユンソンです。

奨学生になって6ヶ月という時間が過ぎました。6ヶ月という時間の間、例会に参加して、奨学生として座っているのが恥ずかしいほど、私に



できることがなくて、いつもたいへん申し訳ないと思ひています。

どんなテーマで、今日この場でお話をすれば良いのか、先週の例会が終わってからずっと悩みました。今回、皆様より奨学生として選んで頂き、



1年生の頃に、おじから宇多田ヒカルの1stアルバムCDとビデオテープをプレゼントでもらいました。今でも、宇多田ヒカルの音楽を聞いています。その時から、日本という国に興味を持つきっかけになりました。

4. 高校時代から大学進学

私は、韓国の高校を卒業しました。実は、産業デザインを勉強したいと思っていたので工業高校に進学しようかと思ったのですが、母が反対しました。母は私が大学に入学することを願いました。高校2年生から、勉強よりは友達と遊ぶ方が好きになりました。大学に行ける状況でもなかったと思ったので勉強の興味はどんどん落ちてきました。そして勉強をなぜしなければならないのかその時はよく気付きませんでした。今はそうは思いませんが、単に大学に行くために必要なものだと思っていました。

成績がだんだん落ち始めました。勉強をやめる前まで、実は、試験期間が一番嫌いでしたが、勉強をやめてみたら試験期間が一番好きになりました。その理由は、家に早く帰ることができたからです。日本もそうですが、韓国もやはり大学に入学するために大学入試を受けることになっています。点数は良くなかったのですが、やっと地方の大学に入学することになりました。地方大学の場合、学生募集のために大学生たちが直接、学校を広報しに來たり、パンフレットを配布します。

その中で特に目立つパンフレットがありました。私は幼い頃からダンスに興味があり、歌を歌うのも好きでした。とにかくパンフレットの内容の中にダンスサークルを広報する内容があったのですが、それを見てすぐにその大学を選択しました。大学入学と同時にダンスサークルに入りました。私が住んでいたソウルとは、とても遠く離れたところに学校があったので寮の生活をしました。正直に言うと、部活にだけすごく情熱的で、大学の授業に集中できませんでした。学生として高い授業料を払って授業に熱心に臨まなかったのは恥ずかしいことですが、今までもその時が一番懐かしくて、面白かったと思っています。

5. 突然、知った家の状況と夢をあきらめたこと

大学1年生の前期が修了され、3ヶ月ぶりにソウルに帰ることになりました。久しぶりに母に会いました。

私はまだあの日を忘れられていません。私は、私の家が、普通の家庭だと思っていました。しかし、母は、私たちを育てるために、絶えず努力したにもかかわらず、想像以上にたくさんの借金が

あることが初めて知ることができたからです。母が稼ぐお金は私の家族の生活費として使わなければならないし、私の弟はまだ高校2年生だったので、その借金を私が返さなければならないようになりました。

そのため、私は、大学をやめるしかありませんでした。母に聞こえるかと思って布団をかぶって、号泣した記憶が今でも鮮明です。私は、大学をあきらめ、夢をあきらめ、借金を返すことに決心しました。

私が、大学生活で自分のしたいことを思う存分できるとしても、その陰で、毎日働き、苦しんでいるお母を見たら、幸せではないと思いました。そして、そんな母に娘として力になってあげるのは当然のことだと思いました。また、その借金は私と私の弟のために負ったものだと思いました。だから、まずは、その借金を返して、何をしても気になることがないことを願いました。大学をやめて、その借金を早く返さなければならないという考えだけでした。借金さえ返せば、次は、私がしたいことは何でもできると思ったからです。

6. 私の20代

実は、大学入学前に韓国の女子の軍隊に志願したいと思いました。その理由は、兄弟で姉が軍人なら、弟が軍隊に入隊しなくてもいい時代がありました。女の軍人になれば色々な恩恵があり、色々私の状況を考慮した時にできる最善の選択だと思いました。私は、子どもの頃から運動神経が良い方だったので、訓練をうまく受けられると思っていましたが、これは、母の反対であきらめました。

私が、借金を返済するために大学をやめて、まず、最初に始めたバイトはパチンコでした。一日に12時間立って働きます。昼休みの1時間を除いてですね。いくら若い年だとしても、11時間立って働くのはきついです。居酒屋でもバイトをしたし、ウエスタンバーでもバイトしたことがあります。借金を返すために10万円以上稼がなければならなかったので給料をたくさんもらえる仕事をしなければなりません。韓国では高校卒業だけで会社に就職するのがとても大変です。私は、会社に勤め、事務職として働くのが夢でした。

私の履歴書をどの企業でも閲覧できるようにインターネットに登録しておきました。幸いにも一ヶ所から私の履歴書を見た「新韓金融グループの子会社」から、連絡を受けました。正直、私は詐欺電話だと思いました。新韓は、韓国で本当に有名な金融企業なのに、そんな会社から電話を受けるはずがないからです。どんな会社なのか詳しい



ことはホームページを通じて確認すればいいと言われて、もし面接を受ける意思があれば連絡をもう一度くれて欲しいと言いました。ホームページを確認してからも疑わしい気持ちは依然としてありましたが、とにかく私に関心を示してくれた会社があるということだけでもありがたいことだと思ったので、面接を受けるという意思を明らかにしました。そうして2次面接まで合格し、本当に有り得ないことで、中堅企業の契約職で、初めて事務職の仕事ができるようになりました。

仕事は、チームの会議の準備やチーム員のお使いなどの雑務でしたが、働けるように機会を与えてくれたことに感謝の気持ちを持ち、その感謝の気持ちをお応えするために最善を尽くしました。私はこの時から少しずつ変わったと思っています。多くのことを見て学んだきっかけであることは間違いありません。また、この時、初めて勉強をやめたことに対して後悔した時期でもあります。私は2年契約を満了して退社しました。実は契約延長を勧められましたが、私にできることに限界があることに気づき、これを断りました。私という人を成長させるために勉強もいいし、何かしなければならなかったからです。

それから、叔父の助言により、初めて会計勉強を始めました。借金を返さなければならなかったのも、同時に就職活動もしました。そして、税務事務所に入社することになりました。

韓国では、税務資格がなくでも税務事務所で勤務することができます。税務の仕事は私にとって、とても興味深かったです。これまで働きながら、感じられなかった感情も、どんどん出てきてとても、意欲的でした。給料も、すごく少なかったし、1年、半分以上、夜勤をしましたが、働くのがとても楽しかったです。仕事を本当にうまくやりたい気持ちで自ら勉強を始めました。おかげで資格も取得できたし、他の人より短い時間で多くのことをやり遂げられました。誠実に臨んだ結果、給料も大幅に上がりました。何より上司に業務能力を認められるということは、本当に嬉しいことです。

私の20代は借金を返すために生きてきたのが全てだと言えます。毎月、10万円というお金を5年ほど返し、5年目を過ぎてから毎月5万円ずつ返しました。母が、借金があると言ったとき、正確な金額は教えてくれませんでした。そして、私もこんなに長く返すことになるとは思いませんでした。そのように、終わりが見えなかった借金は8年ほど返してから終わりました。

母も一生懸命に働きました。母は私が大学生に

なった時、化粧品訪問販売の仕事を始めました。営業のために車が必要でした。母は安く中古車を購入して、営業していましたが、車の修理代を払うことができませんでした。それでも、母は、ポンコツの車で働きつづけました。それで借金を全部返し終わったときに、母の車から変えてあげました。そのように借金をすべて返してしまうと、私の20代が終わりました。私の20代は、家の借金を返すために働いた時間でした。

7. 夢を実現するために別府へ

私が日本への留学を決心したのは2018年9月です。シンガポールに住んでいる叔父に会うために初めて家族と海外旅行に行きました。久しぶりに会った私の家族とおじ、おばさんと一緒に夕食を食べておじの家に帰って来ました。疲れたのか母は帰ってくるや否や眠りにつきました。楽しくおしゃべりをして、おばさんが「ファンさん、仕事はどう？」という突然の質問に、これまで我慢していた涙が一気に流れました。忙しく暮らしながら知らなかったですが、その間私は、とても心も体も疲れていたようです。しばらく泣いていたのは、おばさんへの質問の答えになりました。そして、このように言いました。

「私は自分がしたいことをいつもあきらめるしかなかったです。そして、自分自身を惜しまずいつも足りない人だと叱ってばかりいました。自分自身を大事にしてあげたいと思います。そして、これからでも私のための人生は生きて行きたいです。日本にとっても行きたいです。母を説得してください。」

次の日、母は快く日本に行ってもいいと言いました。それから韓国に帰ってくるや否や日本留学に行くための準備をしました。そうして間もなく警察署から父親が亡くなったという連絡を受けました。

私はこれまで貯めておいた積金を解約し、令和元年3月22日に別府に来ました。それから2019年4月、別府大学の別科に入学しました。別科はAクラスからDクラスまであります。Aクラスが一番レベルが低いクラスです。私はAクラスに割り当てられました。日本語が全然できなかった私はコンビニで水さえ買って飲められないほど、勇気がない人でした。クラスで成績は優秀でしたが、覚える速度も遅く、予習、復習をしないと授業参加が難しいほどクラスメートの習得する速度は私より速かったです。今私の携帯にも音声ファイルが残っていますが、日本語が上手になりたい気持ちで、授業が終わって帰ると、私の声を録音した



ファイルを聞いて、真似をたくさん繰り返しました。

日本に来て6ヶ月が経って、やっとバイトができました。日本語が下手だったので面接にたくさん落ちました。ところで、本当に優しい社長のおかげで、居酒屋でアルバイトをする機会を得ることができました。お客様を対応できる日本語レベルではなかったので迷惑をかけると思ってお皿洗いや、掃除や、私にできることに最善を尽くしました。残念ですが、6ヶ月ほどアルバイトをした頃、コロナのせいで居酒屋が休業することになり、これ以上、アルバイトをすることができませんでした。

私はアルバイトをしなければ、生活にならなかったの、早く他のアルバイトを探さなければなりません。そのように私は現在までローソンで、アルバイトをしています。日本語の問題で1年間リーダーにすごくいじめられました。リーダーは大分弁をよく使っています。私は、日本語の問題で毎度怒られました。今日も怒られるだろうなと思って出勤前から緊張しすぎたせいで、1年間頭痛薬を飲まなければなりません。でも、今はとても仲がいいです。リーダーはいつの間にか私にとって心強い人になりました。

別科1年を修了され、別府大学に入学することができました。別科卒業生は別府大学に入学すると入学金が免除されます。当然私の状況では、お金がないので、別府大学に入学しなければならなかったです。コロナで2年間非対面授業だったので物足りなさが多く残りますが、誠実に授業に参加した結果、良い成績を維持しており、簿記資格も取得することができました。

➡次、「夢に近づいた挑戦」のお話です。

令和3年8月夏休み、留学生課からメールをいただきました。ロータリー財団の奨学生の募集に関する内容でした。毎月、10万円の奨学金という内容が真っ先に目に入りました。奨学金をもらえるなら、学費に対する心配を減らせると思ったので、挑戦したかったです。実は、まったく自信は、ありませんでした。でも、一生懸命、準備してみたかったです。とても切実でした。担当の先生からたくさんの助けをもらうことができました。担当の先生は、私の夢のために、そして、私の挑戦のために、応援してくださいました。その結果、留学生課から合格の知らせを聞くことができました。私は、とてもうれしい気持ちで、留学生課に駆けつけました。私は、実は、奨学金を1年間もらえると思っていました。先生と話を交わしている途中、卒業前まで、奨学金をもらえるという話

に、嬉しすぎて、涙まで出ました。これまで苦労したことが、フィルムのように、過ぎさったようです。私は、何よりも嬉しい知らせを、母に先に、知らせたかったです。母も話を聞いて、泣きそうになりました。それから、私は、母に言いました。「私の心配はしないで！日本でよく適応しているし、これからもうまくいけるよ！」

➡最後です。

私が、韓国の会社を辞めて、日本に留学すると言った時、家族以外に、周りの人の反対が激しかったです。その中で、私の夢を応援して下さった方がいます。私の取引先だった病院の院長です。院長は、私にこう言ってくれました。

「人生は、スピードではなく、向かう方向です。他の人の話は、気にしないで、今のように頑張ってください。すると、いつか、自分が成し遂げようとするのを成就することができます！」

私は、現在36歳です。そして、来月には37歳になります。日本に来てから3年6ヶ月ぐらいの時間がたって、そして卒業前まで1年半ぐらいの時間が残ってます。他の人と比べると、私の夢への始まりが遅くなったかもしれません。まだまだ、成長している過程の中で、たまには、ミスもあります。私は、日本で、就職したいし、日本で暮らしたいと思ってます。たくさんの夢があり、ぜひとも、実現したいです。ロータリー財団は、私にとって、夢を見て走れるように機会の橋を、架けてくれたと思います。本当に、ありがとうございます。そして、施して下さった善行忘れないで、将来、必ず、お返ししたいと思ってます。足りない部分はまだ多いですが、皆様から期待され、必要な人材になりたいと思ってます。この卓話のために、原稿を作成してみると、私も自分の過去を振り返ることができるようになりました。そして、また、やる気ができました。少し恥ずかしいことの話も含まれているので、私の話を聞いてどう思うか少しは心配な気持ちです。ただ、真面目に話すことで、私の本心が伝わると思いました。

私の20代は、家の借金で大学生活や、自分の楽しみを、諦めました。しかし、周りの人より、少し遠回りをしましたが、今、皆様のおかげで、自分の夢のために頑張ることが出来ます。本当にいつもロータリー財団に感謝の気持ちを持っています。改めて、この場を借りて、もう一度、心より感謝申し上げます。まだまだ、未熟者ですが、私にできる活動があれば、積極的に参加したいと思ってます。貴重な時間、私の話を聞いて下さって、ありがとうございます。以上です。